

1. 件名：「日立造船（株）特定兼用キャスクの型式証明申請（Hitz-B69 型）に関するヒアリング【6】」
2. 日時：令和5年4月11日 13時30分～16時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）
原子力規制庁：
（新基準適合性審査チーム）
戸ヶ崎安全規制調整官、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官
（核燃料施設審査部門）
甫出安全審査官

日立造船株式会社：
脱炭素化事業部 プロセス機器ビジネスユニット 原子力機器事業推進室
室長 他7名※
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
提出資料：
資料1-1 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（第四条、第五条、第六条）
資料1-2 補足説明資料 4-1 4条地震による損傷の防止 地震に対する安全機能維持に関する説明資料
資料1-3 補足説明資料 5-1 5条津波による損傷の防止 津波に対する安全機能維持に関する説明資料
資料1-4 補足説明資料 6-1 外部からの衝撃による損傷の防止 竜巻及びその他外部事象に対する安全機能維持に関する説明資料
資料1-5 Hitz-B69 型ヒアリングコメント管理票

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁松野です。では時間になりましたのでただいまから、型式証明申請第四条五条六条、外部事象の
0:00:12	説明ということで、前回のコメント回答。
0:00:17	になるかと思いますので、
0:00:19	修正した箇所を中心に、説明をお願いいたします。
0:00:26	はい。それでは日立造船の小原です。本日準備しました資料から説明いたします。まず資料 1-1 としましてとりぎん基準規則への適合性について 45 条六条のパワーポイントの資料。
0:00:40	資料 1-2 としまして、補足説明資料 4-1、地震による損傷の防止のなぜ機能に関する説明資料、
0:00:49	続きまして資料 1-3。
0:00:52	補足説明資料 5-1、津波に対する安全機能維持に関する説明資料。
0:00:57	資料 1-4、補足説明資料 6-1、竜巻及びその他外部事象に対する安全機能維持に関する説明資料。
0:01:06	そして、資料 1-5 としまして、Hitz-B69 型ヒアリングコメント管理表。
0:01:13	隣の五つとなります。
0:01:15	それでは
0:01:17	前回ははいこの 45 条六条に関するコメント回答を中心に説明させていただきます。では説明者変わります。
0:01:29	はい。では 45 条 6 条の生成箇所の件について日立造船濱田が説明させていただきます。
0:01:39	資料 1-1 のパワーポイントを冒頭にご説明いたします。
0:01:47	パワーポイントのですねまず 7 ページ目になりまして、
0:01:54	ちょっとコメントを受けたところではないんですけどもHitz-B52 型に注記を追加しています。
0:02:04	その次が 9 ページになりまして、
0:02:09	解析モデル及び評価手法のところ①をキャスク本体と、
0:02:16	まとめて書いていたんですけども、もっと密封境界及び
0:02:21	20 分だボードという表記に変更しています。
0:02:26	富井浜田ボール等についてはですね前回コメントがありました通り、
0:02:32	二次蓋を保持する必要があるということで評価を追加しています。
0:02:40	続きまして同じページの疲労評価については、型式指定で評価を実施するというのでこちらも記載、修正しています。
0:02:53	続きまして 10 ページ目になりまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:57	評価部位について二次蓋ボルトを追加しました。
0:03:01	評価基準については金属キャスク構造規格に定める見込みを木野、
0:03:06	供用状態における許容応力としています。
0:03:11	この地域については蓋部の遮へい機能を担う二次ぶたを所定の1本、 手術必要があることから、
0:03:19	評価を実施するとしています。
0:03:26	はい。続きまして11ページであります。
0:03:31	こちら解析モデルを密封境界及びミズタボール等としています。
0:03:38	荷重条件をです
0:03:41	水平の地震力として計方向と軸方向の2ケースを実施として修正して、 鉛直地震力は加速度を木下方向とするという表記に修正しています。
0:03:58	あとコメントがありました地震力のうちの側部の中性子遮へい材。
0:04:03	どのような扱いになっているかというのがありましてこちらは慣性力を他 の。
0:04:09	中性子遮へい材と同様に慣性力を、
0:04:12	与えるようにして今追加しています。殊、図も修正しています。
0:04:22	こちらの図なんですけども、水平の径方向の地震力。
0:04:27	鉛直の下方向の地震力をこの11ページに記載してまして、
0:04:32	12ページの方に、水平の軸方向、
0:04:36	この地震力と鉛直の下方向の地震力の図
0:04:40	を追加しました。
0:04:44	前はまとめて一つの図として、
0:04:49	示してしまってたんですけども両方やっているということをよりわかりや すくするために図を二つ分けて記載するようにしました。
0:05:08	続きまして13ページへ行っていただいて、
0:05:13	評価モデルのうちのバスケットのコンパートメントの評価モデルについて はちょっと全面的に記載を変更しています。
0:05:26	統括所長としましては、最大解除かかる180度が、一番下方、下側の、
0:05:34	コンパートメント対応、5本を評価対象としています。
0:05:42	東証としまして、サエグサ法、北側のところは対策しています。
0:05:47	そのコンパートメントのうちのサポートプレートの資産一つ分の範囲、プ レートをいたしまして、その範囲の中で、能力とせん断応力の評価を行 っています。
0:06:02	全コンパートメント全体受けをするような評価を行っています。
0:06:07	前回コンパートメント取りにくかったんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:10	今回、
0:06:12	評価対象としている範囲だけを示すような図に修正しています。
0:06:20	あと荷重としての部材についてはある意味、真ん中の図に示す通り、
0:06:26	あるブロックと中性子吸収材とコンパートメント。
0:06:31	この緑の枠の、
0:06:34	評価対象とする範囲の上に乗っかってる。
0:06:37	類について、
0:06:40	渋滞荷重対象としています。
0:06:46	この1、サポートプレート1スパン分を抜き出して、この右の評価モデルとして、
0:06:53	これ、
0:06:56	評価を行っています。
0:07:01	片側のサポートフランジプレートの方は単純支持たん。
0:07:06	英語版、この図の右っかわの方を、
0:07:09	固定担として評価モデルを作成しています。
0:07:23	はい。続きまして14ページになります。
0:07:27	こちらと同じく、コンパートメントの水平方向の地震荷重が作用した時になります。
0:07:35	こちら最大荷重がかかる、90°側、
0:07:39	そのコンパートメント交代を評価対象としています。
0:07:45	水徳の金属の
0:07:49	ときと同様に、サポートプレートの支持スパン1粒の範囲をモデル化しまして、
0:07:55	その中で曲げ応力とせん断応力の評価を行っています。
0:08:06	はい。続きまして15ページ。
0:08:10	バスケットのサポートプレートの評価になります。
0:08:15	こちらズーずっと説明についてちょっと全面的に見直しまして、
0:08:23	ファイルがかかる、コンパートメント。
0:08:27	のこの一番下の段、5台分掛けるこの、その上に全部乗っかってる。
0:08:35	コンパートメント45体を、
0:08:39	移送の、
0:08:40	サポートプレート11枚を評価対象としています。
0:08:46	このコンパートメントと、本体の胴に間に挟まれているサポートプレート、
0:08:51	うん。
0:08:52	な思考力な倉庫を行っています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:00	こちらコンパートメントは、コンパートメント側のサポートプレートは、表固定さんとして、動画は自由とのスプレッド。
0:09:11	東郷物流担当規定評価モデルを作成しています。
0:09:16	積載範囲、積載荷重としてとしましては、
0:09:21	45 体分のコンパートメントと、その間に挟まれている中性子吸収材と、
0:09:28	フランジプレート、さらには 0° 方向側のサポートプレートと、
0:09:35	或いは御所アルミブロックになります。
0:09:50	続きまして 16 ページになりまして、こちらは水平方向の地震荷重、地震加速度が、
0:09:57	採用したときの、その評価モデルになります。
0:10:01	こちら鉛直の時の評価と同様に、
0:10:05	最大会場が変わるコンパートメント 45 体、90° 側の 45。
0:10:11	を意味して、
0:10:12	45 体のサポートプレートに関わる、
0:10:16	盛です。
0:10:17	90° 側のサポートプレート、RAコンパートメント 45 体の、
0:10:23	し、
0:10:24	積載荷重として評価を行っています。
0:10:29	鉛直方向の時と同様にコンパートメントと胴に挟まれているサポートプレート、
0:10:34	1090° 側の 11 枚の評価を行います。
0:10:45	セキは、積載荷重と差評価モデルとしては、鉛直と同様になります。
0:10:59	続きまして 17 ページ。
0:11:03	年金の評価も、
0:11:05	10 日、
0:11:07	になりまして、
0:11:10	エネルギーの溶接部については
0:11:13	電熱品と同一の溶接部、
0:11:17	あともう一つ、DNPサイトウの溶接部の 2 ヶ所に対して、スミニク溶接を自施しているんですけども、
0:11:25	保守側の評価として電熱品と同一の、
0:11:29	溶接部を評価対象として、
0:11:32	該当との溶接部はもう考慮せずに、
0:11:36	この
0:11:37	うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:39	同等の溶接部のみの、
0:11:42	片側スミニクを評価対象としています。
0:11:55	こちら
0:11:59	前回継ぎ手効率についてのコメン等があったんですけども、
0:12:04	評価に対しては現状継ぎ手効率は考慮していません。
0:12:22	ただ電熱該当との溶接部は考慮せずに同等の溶接部だけを考慮することで、
0:12:28	保守側の評価になるというふうを考えておりました、
0:12:33	この評価で大丈夫だと。
0:12:36	考えております。
0:12:43	続きまして
0:12:45	18 ページになります。
0:12:49	トラニオンの評価になりましてええと、
0:12:53	前回トラニオンの評価モデル及び評価手法について、
0:12:57	パワーポイントに記載しておりませんでしたのでこちらの
0:13:01	17、1089 ページを新規に追加しています。
0:13:07	まずトラニオン本体の評価として、
0:13:12	水平の軸方向と水。
0:13:14	鉛直の下方方向の地震加速度が作用するものとしており、
0:13:19	上部トラニオンについては、軸方向にスライドする構造になっていますので、
0:13:27	鉛直方向の加速度に作用します。
0:13:30	下部トラニオンについては、
0:13:32	鉛直方向と、
0:13:35	軸方向の両方作用する、しますので、
0:13:41	評価
0:13:43	評価として厳しい下部トラニオンを評価を実施しています。
0:13:52	評価 1 としてAA断面B断面CC断面の 3ヶ所、
0:13:58	A3 断面の評価を行っています。
0:14:02	これは前回コメントがあつて、
0:14:05	ありましたと、やっでご回答しました通り、
0:14:09	断面の形状が異なる 3 段目を、
0:14:13	抜き出して評価を行っています。
0:14:16	この各断面に発生するせん断応力と曲げモーメントを、
0:14:21	評価しています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:28	続きまして 19 ページになります。
0:14:34	トラニオンの評価の続きでトラニオンボルトの評価については、
0:14:38	本当に固定している。
0:14:40	トラニオンボルトのうち、
0:14:43	最大の引張荷重が働く。
0:14:46	9 番、No.9 と呼んでますけどこの
0:14:49	一番下、
0:14:50	についてるボール等の評価を行っています。
0:14:55	というさらにトラニオンと本体の接続部については、
0:15:00	同じ答弁に次のこのねじの山の評価を実施しています。
0:15:15	続きまして 20 ページの評価結果になります。
0:15:20	評価対象、密封境界部と 2 部、ボールねじ部でボルトを追加、追加して います。
0:15:33	地震力についても水平の軸方向へ地震力について水平の事項を連続 した方法を、20 ページに示しておりまして、
0:15:44	水平の径方向と鉛直下方向 21 ページに示しています。
0:15:48	前回ちょっと水平方向をまとめて記載してしまったんですけども、
0:15:52	両方やっているということで、
0:15:55	やっているということで、そういうことにいたしました。
0:16:05	評価結果としては、表の通りになります。
0:16:08	評価基準値についても、コメントがありました通り、
0:16:12	SyとかF、SEとか、
0:16:17	何を評価基準値としているのかについても記載することにしていきます。
0:16:26	21 ページ 21 ページは水平方向と、
0:16:30	連続した方向の地震力における評価結果になります。
0:16:36	22 ページになります。続きまして 22 ページになりまして、
0:16:40	一次蓋の横ずれの評価。
0:16:43	になります。
0:16:45	こちら前回コメントがありましたボルトの、
0:16:50	何係数について高度、
0:16:52	エースしていませんでしたので、
0:16:55	そちらを考慮しまして、評価基準値の方を修正しています。
0:17:03	ただ計算値の方が、
0:17:06	評価基準値より小さいため、
0:17:09	横ずれは生じないという結果に変わりはありません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:17	続きまして 24、5 歳 23 ページになります。
0:17:21	トラニオンの評価結果、結果そのものは、前回と変わらないんですけども、1 ブランドだと、結果の方の電池のところ、その内容、括弧の中に内容が記載しています。
0:17:43	続きまして、します。五条の津波による損傷の防止になります。こちら 27 ページ。
0:17:54	表記。
0:17:57	修正クマガイまず修正箇所として荷札V、
0:18:00	を追加しています。横地 4 条と同様に、
0:18:04	金属キャスク構造規格で定める密封容器の教授、供用状態Dにおける許容力としています。
0:18:17	続きまして 28 ページになります。
0:18:21	評価対象を、キャスクとしてまとめてしまっていたんですけども、こちらを密封境界部としましてニジブとボルトを追加しています。
0:18:35	続きまして 30 ページになります。
0:18:41	こちらも対象を密封境界部と二部とVとしまして、
0:18:46	荷重については、長手方向、もしくは径方向へ作用させるという記載に修正しています。
0:18:56	この図についても 30 ページに長手方向からの津波荷重を記載して 31 ページに、
0:19:02	径方向からの津波荷重を記載しています。
0:19:07	また、側部の中性子遮へい材についても、
0:19:11	慣性力が作用するということになりますので
0:19:15	そのFWを追加して図の方にも矢印を追加しています。
0:19:26	続きまして 33 ページのコンパートメントの評価モデルになります。
0:19:33	こちら地震の時と同様に、
0:19:38	全面的に見直しております、
0:19:42	まず、ナガタ方向の津波、
0:19:46	津波荷重が作用する場合は、
0:19:50	コンパートメントの図、外周 24 体を評価対象としています。
0:19:56	その 24 体のうち一番荷重が大きくなる、下部側の、
0:20:02	A、
0:20:05	サポートプレートの 1 スパン分の範囲をモデル化して評価を行っています。
0:20:11	積載荷重としまして①と②と二つにちょっと分けて計算しております、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:18	①の方は、上部孔食と上部プレートが対象になります。
0:20:23	こちらは
0:20:25	コンパートメント 69 体全体に均一に負荷がかかりますため、
0:20:32	この
0:20:34	上部孔食と上部プレートについては 69 分の 24 を、
0:20:40	評価対象とし、外周 24 体のコンパートメントの
0:20:45	家。
0:20:46	地域再加重としています。
0:20:49	積載荷重につきましては、
0:20:52	外周 24 体分のコンパートメントと、それに、
0:20:58	取り付けられております。
0:21:00	フランジプレートとサポートプレートとアルミブロック。
0:21:04	を積載荷重として、この 24 体の評価対象のコンパートメントに、
0:21:10	付加しています。
0:21:22	続きまして 34 ページになりましてこちら、水平方向の津波加速と、
0:21:28	が採用した場合の評価モデルになります。
0:21:35	こちらについては地震の時と同様の
0:21:38	評価モデルになっておりまして、90° 側の
0:21:42	コンパクト無コンパートメント抗体が最大荷重がかかりますのでこちらを 評価対象としています。
0:21:50	サポートプレートの施術間一つ分の範囲を、
0:21:53	モデル化しておりましてその中で、曲げ応力とせん断応力の評価を行っ ています。
0:22:03	続きまして 35 ページ目になります。こちらは水平方向の、
0:22:09	サポートプレートの評価になります。
0:22:12	こちらも
0:22:14	地震と同様に、90° 側のサポートプレートを評価対象として、
0:22:19	45 体の荷重、コンパートメントの荷重がかかるものとして、不
0:22:24	評価を実施しています。
0:22:33	続きまして 36 ページになります。
0:22:36	こちらは冷熱品の評価。
0:22:40	モデルになります。
0:22:42	こちらも先ほどの地震と同様に、
0:22:46	本体と、
0:22:48	本体の胴と、連立品のすみ肉溶接部のみを評価対象として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:53	保守的な評価として実施しています。
0:23:03	37 ページ目につきまして、続きまして 37 ページ目になります。
0:23:08	こちらに渋田ボード追加したというのと、
0:23:11	評価を行っていない箇所について
0:23:15	理由というのは注記の注記に記載しています。
0:23:19	で、まず該当についてはフランジ部とかブタン版で支持されていますため、
0:23:24	該当に有意な、
0:23:26	効力が発生しないことから、
0:23:29	長手方向の津波荷重に対しては評価を省略しています。
0:23:34	サポートプレートにつきましては、
0:23:36	こちら道内名には拘束されていないため、
0:23:40	こちらについても、有意な応力が発生しないことから評価を省略しています。
0:23:48	続きまして 38 ページ目になります。
0:23:51	こちらにも二次ぶたボードを追加したというのと、
0:23:55	稟申の、
0:23:57	評価について評価を実施していない理由を、この注記に記載しています。
0:24:03	径方向からの時、経営方向からの津波荷重に対しては、
0:24:08	中性子遮へい材に取って伝熱品が支えられているため有意な応力が発生しないことから評価を実施し、評価を省略しています。
0:24:20	39 ページについては先ほどと同様にボルトの内力係数を考慮して、
0:24:26	オカずれのための評価基準値を修正しています。
0:24:38	続きまして第 6 条、竜巻、
0:24:42	による損傷の防止になります。
0:24:47	まず 43 ページ目については二次ぶたボルトを先ほどと同様に、追加しています。
0:24:58	引き続きまして 46 ページになりますけども、
0:25:01	こちらにも、竜巻荷重を、長手方向からの荷重と、経営報告からの荷重、
0:25:08	2 パターン、主スライドに示しています。
0:25:12	46 ページ目に長手方向を示しておりまして、47 ページ目に、K 方向からの、
0:25:18	荷重として示しています。
0:25:21	こちら両方とも、食部の中性子遮へい材の慣性力を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:26	AFWとして追加しています。
0:25:32	48 ページ目にありまして、
0:25:36	評価モデルと評価手法については、
0:25:39	津波による損傷の防止のとき第五条と同様になります。
0:25:47	変更点としては
0:25:48	評価モデル及び評価手法についての数、参照して、
0:25:53	参照すべきスライドを、それぞれ示しています。
0:26:05	続きまして 50 ページの評価結果になります。
0:26:10	こちらにも二次蓋ボルトを追加したというのと、
0:26:13	該当とサポートプレートで評価を行っていない理由を、注記に記載しています。
0:26:20	レイアウトさらに評価基準値に記号を記載しています。
0:26:25	51 ページも同様に、人事部とボルトを追加したというのと、
0:26:29	熱意の評価を行っていない理由を記載しています。
0:26:37	続きまして 52 ページについても、こちらにも先ほどと同様に、ボールドの内陸ケースを考慮して、
0:26:45	評価基準値を修正しています。
0:26:54	第 6 条は以上でし終わります、最後に今後の説明スケジュールの方。
0:27:01	について
0:27:02	4516 条と 16 条の後半のところを、
0:27:06	アップデートしています。
0:27:12	はい。以上でご説明を終わります。
0:27:17	規制庁松野です。では
0:27:21	質問の方に移らせていただきます。
0:27:23	私の方からちょっと記載のまず確認をしたいんですけども、
0:27:30	順番に行きますと、
0:27:33	まず 10 ページ目のところで、
0:27:38	表があって評価部位及び評価基準で安全機能が左に書かれてあって閉じ込めの機能のところのこの評価部位で、
0:27:48	一次蓋の密封シール部一次蓋ボルトっていうのがあって、
0:27:54	その後ろの方見ると結構密封境界部っていうのが出てくるんですけど、
0:28:00	そののちょっと、
0:28:02	言葉の使い方なんですけど、
0:28:04	密封境界部というのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:07	一時豚密封シール部と一次豚V、この二つを指すって理解でよろしいですか。
0:28:19	はい。その理解で問題ありません。
0:28:38	その密封境界部は、
0:28:43	胴のところは、境界部としては、
0:28:47	入るといって入れ替えか、それとも入れないという理解かそこをちょっと教えてもらえますか。
0:28:55	あります。
0:28:57	はい。
0:28:58	一応胴の方も見業界としては入ります。
0:29:13	すいません。衛藤。私が理解規制庁サクライですけど理解していたのは、閉じ込め機能表。
0:29:21	維持して、取り組みを持っているってものを評価するのに、一次分民ぶシール部ってものと一次ブタVってものを評価はしているんだけど、
0:29:32	密封境界部って言ったら閉じ込め機能の補足2記載でいただいたのなんだろう。
0:29:40	同から来赤粋。赤瀬。
0:29:43	新居載っているところっていうふうに理解していたんですけど。
0:29:49	てなると、補足のほうを見ますと、20、地震の補足の27ページで、密封強化、表2で、
0:29:59	地震時の密封境界部の横ずれ評価結果ってものを、一時豚の慣性力ってものってこれってボルトなの。
0:30:07	ZIPた密封シール部なのという、ちょっと疑問が湧いてきて、すみません松野さんの質問に被せちゃいましたけどここら辺の何かを整理って、
0:30:18	していただいた方が、言葉の使い方ですけど。
0:30:22	いいのかなと思います。
0:30:25	で、造船の整理としてはどうなりましたっけ。
0:30:40	今ちょっとは記載としてわかりにくくなっていたのでちょっと、
0:30:45	全体的に修正し、しようと思います。
0:30:56	例えばセンコーだと私が最初に今話した評価の部位は、そのボルトとかシール部だけど、密封境界部ってなったら、その孔と軸、今造船が示してもらっている。
0:31:09	赤の赤で何かこう、日、
0:31:12	かびみたいに、キャスク本体と、一部だとかあらへんを赤く
0:31:18	線引っ張っているところが、取り込む機能を担保する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:24	meto境界部なのかなと思うんですけど、
0:31:27	整理は整理で後でする紙とかにさせていただくとして考え方でこれで合ってます。そこを知りたいんですよ。
0:31:35	その先行例があると話した感じで、
0:31:41	はい。考え方としては、今のご理解の通りで、相違ないと思います。
0:32:30	規制庁の松野です。
0:32:34	今の点については、
0:32:38	11 ページ目
0:32:40	ずっと前が示されてますので、
0:32:44	そこが評価部位がどの範囲なのかっていうところは少し色分けしてこの範囲を見てますとか、
0:32:52	あとは補足のほうで少し絵を、この境界部、密封シール部。
0:32:58	そのあたりはどこなのかっていうところは少し、わかりやすく、遠出し、で、
0:33:04	示していただければと思いますので、
0:33:07	よろしくお願いします。
0:33:14	はい、承知しました。規制庁ホデですけども、
0:33:19	どうかな、評価した部位がねどこかっていうことがちゃんとわかるようにしてあげて、それはどういう機能を持ってるって例えばね、どうであれば、当然未閉じ込めの機能もあれば、
0:33:31	遮へいの機能もあればってようなことになると思うんで、あくまでも、説明したいということが安全機能が維持されてますよってという説明を、
0:33:41	したいという意図はわかるんだけども、そちらがメインに出ちゃって、じゃあ具体的に何を評価したのっていう感じになってると思うので、要は、こういう荷重をかけましたと。
0:33:53	こういう付加条件でありました、評価のポイントはここですよと、その結果こうなってそれぞれ弾性範囲内に収まってるってとか、
0:34:03	ということがあって、
0:34:06	それぞれの部位がどういう機能があるっていう、主なる機能でもいいかもわかんないですね。例えばどうであれば、閉じ込めであり遮へいでありということだろうし、バスケットであれば、未臨界維持機能であり、ということになると思いますので、
0:34:23	参考になるかどうかちょっとわかんないですけども、日立造船の方では、今までいろいろ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:32	私が言うのはあれですけど、輸送の方でもですね、いろんな申請書別紙安全解析書作られてきてると思うんだよね、あそこで。
0:34:42	構造解析で例えば、
0:34:45	圧力かかった時以降ですよっていうふうなことで、いうことでこういうところを評価してますよっていう話は入れてますよね。で、
0:34:55	こちらの場合はその安全機能ということになると思うので、それぞれが、要は構造共同が維持されることによって、ここ、こういう安全機能を担う猪子安全機能が保たれますよ。
0:35:06	というふうな形でね、わかるように書いていけばいいのではないかなと思います。以上です。
0:35:18	はい、承知しました。ありがとうございます。
0:35:24	すいません。規制庁の方ですけども、ね、ちょっと教えていただきたい。事実確認ですけども、
0:35:33	一次中性子ブーの映写財務圧力ってありますよね。いわゆるレジンが充填されてる領域の圧圧力。
0:35:46	11 ページですけども、この圧力っていうのは、具体的には何を考えられてます。
0:35:56	例えば、重量現存して水が出るから、その水の蒸気圧を考えましたとか、レジンが熱膨張しますというところで、
0:36:07	その熱膨張に伴う、それはどちらかというと2乗力になると思うんですけども、というものなのか、その辺、救世主圧力で確かに圧力荷重として、要はその周りの構造部材に負荷されるということは理解できるんですけども、
0:36:23	何をオカ、何を念頭に置いて、この荷重の戻って一体何、何なのかっていうことをちょっと教えていただけますか。
0:36:59	はい。一応、圧力としましては、まず、レジンそのものが熱膨張して、ボイドの体積が減ったことによる圧力上昇と、
0:37:09	水蒸気が発生する分の圧力上昇の二つを考慮しています。
0:37:17	規制庁ホデですありがとうございます。
0:37:20	えっとね、それともう一つは、17 ページのところにスペーサーって入ってますよね。これ、膨張吸収を
0:37:30	目的として配置されているものだと思うんですが、
0:37:36	思うんですけども、これ、
0:37:41	これが変形するときによっても
0:37:46	例えば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:47	ここで言う、該当の部分とかにね、荷重がかかるように思うんですけども、これはどのように考慮されてるんでしょうか。
0:38:04	エーットー。
0:38:06	スペーサーが入ってるのは側部のレジ中性子遮へい材分になるんですけども、こちらも同様に、
0:38:13	理事の膨張そのものと、
0:38:16	出てくる通常期分の、
0:38:18	加圧を、
0:38:20	このスペースのところで考慮しています。
0:38:23	どういうスペースの中のボイドのところに、はい、麻生というか、このスペーサーが変形するわけですよ多分。
0:38:30	それは間違いない。実際にはそうです。
0:38:33	これで下じゃこれ、形状から見ると、何かす、いわゆるあるスプリングのような形にも見えるんですけども、当然それが変形するとか 10 発生すると思うんですけど、これはいかがなんでしょうか。
0:39:05	Aの、
0:39:18	はい一応スペーサーについても、レジンの膨張と同様に、同様に取っかえてください。
0:39:29	李ジンノ
0:39:31	膨張によってスペーサーそのものが変形するので、
0:39:35	そこでスペーサーによって荷重が発生するということはありません。
0:39:41	それはだから考慮されてるというふうに、考慮されているというふうに、こちらで理解してよろしいでしょうか。
0:39:49	そうですねはい。九州としてですから先ほどのボイド部の減少によるボイルシャルルshallの法則に基づく、
0:40:00	ナカノ、気相部分のによる圧力で、熱膨張を吸収することによって、本来であれば、
0:40:12	レジが押し付けるところを、これによって緩和されるんですけども、スペーサーが、スペーサーがある変形を起こすことによって、長谷、これは
0:40:23	該当のところのみだと、だから違法性持つと思うんですけどその辺はいかがなんでしょうか。だから違法性を持って発生すると思いますし、
0:40:33	事故方向にボイドがあるのかないのかってちょっとわかりませんけれども、先ほどの話で空気があってまだ要は、どうですかね。
0:40:43	藤木曾が残って、基礎の部分であれば、要は、熱膨張っていうのは多分こちらが

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:51	横軸にも伸びて上にも伸びるのか、というところで、この部分のみ荷重がかかるような気もするんですけども、
0:41:01	その辺というリスク理解でよろしいですかね。
0:41:24	一応、レジンの膨張についてはスペーサのところで吸収するような設計になってますけども、
0:41:30	荷重そのものについては
0:41:35	スペーサーの方向だけではなくて真横にも、同側にも、当方向に、
0:41:41	発生しますので、
0:41:44	移行性、
0:41:46	ということではないです。
0:41:55	少しご検討いただいたらいいと思うんですけども、本当に実際に、実際に理事が遅れたときに、スペーサーがどうなってどのような荷重がかかるのか。
0:42:07	これが当局的な圧力荷重として与えていいのかっていうことは、今一度家ご確認いただければと思います。
0:42:16	それとですね、同じページの先回の予溶接の効率云々の話行ったんですけど、私別に強度の話、あんまり
0:42:26	ここはそんな感じかかるわけではないというのは、十分に認識しているということで、お話を申し上げたんですけども、要は、
0:42:37	なぜそんなこと言ったかっていうと、
0:42:40	この段階ではないんですけど将来的にね、ここで何も考慮してなかったら、要はここ体制検査やるんですねっていう話になると思うんですよ。
0:42:50	それ層にここがフルに要は防災と同じような強度があるってということね。それほど多分市防災の強度を求めるほどのものでもないとは思いますが、
0:43:02	どういうことの宣言にも、場合によっては見えてしまうので、考え方としてね、こういうところについてはちゃんとペナルティーを与えて考えて
0:43:12	ペナルティを与えてますとそれは
0:43:17	具体的な話はあるんですけどこの証明の段階ではいらないと思うんですけども、なぜならば、
0:43:24	当然こんなところで体積検査できるわけではないと思いますのでそういうことを踏まえてね、ちゃんとそういうことのペナルティーを考えてこういうところは評価し、考えてますよという指示表示で、
0:43:36	要はその溶接効率の問題をちょっと提示させていただいたということとはちょっとご理解いただきたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:27	あ、はい、わかりましたこちらちょっと一旦持ち帰って検討させていただきます。
0:44:33	すいません。ついでにもう一つ 19 ページのトラニオンのネジ部接続部の評価というところで、
0:44:43	いわゆるねじ山のせん断の評価これは、これでよろしいかと思うんですけども、以前の日立造船のP24 だったと思うんです方だと思うんですけども、
0:44:58	そのときもちょっと申し上げたんですが、
0:45:01	ねじ山のね。
0:45:03	この山野奥本じゃなくて、そのねじとねじが当たるところの、
0:45:10	投資圧、
0:45:12	については評価は不要と。
0:45:16	前のP24 型の際にはこれ評価して説明いただいたと思うんですけども、シアツがいるのではないかなと思うんですけども、
0:45:27	それ、その辺りはいかがお考えでしょうか。
0:45:47	はい。すいませんそちら今記載をしていなかったの、追加で記載させていただきます。
0:45:53	はい。お願いいたします。
0:45:59	須藤線のイハラですけど。
0:46:02	先ほどの
0:46:04	17 ページのスペーサのところなんですけども、
0:46:08	その部分はですねスペーサーも含めてレジンなので、
0:46:13	包丁。
0:46:15	の部分は全層厚になると、いうふうを考えてまして。
0:46:20	この、
0:46:22	形状については、
0:46:24	多様性試験ですけど、部分的な、
0:46:27	こういった形状無理っていうか、再現して実験をして、その辺、そのような過程がちゃんと成り立つということは確認してます。ですから、
0:46:38	不足分の中性子遮へい分についても圧力荷重として与えるってことが妥当だということは確認しております。以上です。
0:47:08	すいませんはい。
0:47:10	ホデですけども、今ご説明いただいたことは、この形状で、
0:47:18	今ご説明いただいたということで実際試験をやられて確認されたということなんですけども、その概要については、補足説明資料なり何なりで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:30	記載をすることは可能でしょうか。
0:47:43	日立造船の三浦です。
0:47:46	可能は可能ですけどちょっと所、
0:47:52	検討しますけどあまり詳細はちょっと書けないかもしれないです。
0:47:59	開示っていうか機密そういう機密等もかかっていますので、
0:48:04	それでもよろしいでしょうか。はい。当然
0:48:08	どうですかね。
0:48:10	商業機密とご判断されるところでもあろうとそれは十分理解できますので、そこはもう十分日立造船の方で勘案していただいて
0:48:21	こういうことを考えてるよってということで、こういうことも確認したよってということがわかる内容であれば、よろしいんではないかなと思います。以上です。
0:48:32	はい了解しました。
0:48:37	規制庁松野です。
0:48:40	私の方から幾つかまたあるんですけども、
0:48:48	のところの、
0:48:49	20 ページ目に、
0:48:52	応力評価結果がありまして、
0:48:56	その臨界防止機能で評価部位がバスケット
0:49:01	D、具体的にはコンパートメントとサポートプレート。
0:49:06	D。
0:49:07	そのの、
0:49:09	が 13 ページ目から 15 ページ目にかけて、
0:49:13	図であるんですけども、
0:49:15	例えばこの図の、15 ページ目の図の、
0:49:19	なんか見ると、
0:49:22	サポートプレートコンパートメント以外にもアルミブロックフランジプレートっていうのがあるんですけど、
0:49:29	アルミブロックとフランジプレートは、評価部位では、
0:49:33	ない、なくても、
0:49:36	これ共同部材に当たるか当たらないからどっちになるんでしょうか。
0:49:50	うん。どっち。
0:49:52	はい。
0:49:53	いとフランジプレートについては構造強度部材になります。下、アルミブロックについては情熱だけですので構造強度部材にはしていません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:07	ここに書かれて部材で構造強度を持たせる部位は、
0:50:12	フランジプレートのみと理解しました。
0:50:16	あと先ほどの 20 ページ目のところの、
0:50:20	このバスケットのコンパートメントサポートプレートの評価基準値なんですけども、
0:50:27	これ一、例えば、基本方針で、
0:50:32	委員会は、
0:50:35	9 ページ目にあるように、
0:50:38	バスケットが臨界防止を有意な変形を起こさないと共用限界。
0:50:44	を、設計方針と立ててまして、
0:50:47	ただ 20 ページ目を見ると、このコンパートメントとサポートプレート。
0:50:53	で、評価基準値の括弧書きのところなんですけど、
0:50:57	コンパートメントはSUで、
0:50:59	サポートプレートは 2.0Syなんですけど、
0:51:03	これどういう理由考え方で、
0:51:06	こういう基準値で設定してるんでしょうか。
0:52:48	ちょっと待っていただいていいですか。すみません。
0:54:21	ですね
0:54:24	僕説明資料の
0:54:27	4-1 の、
0:54:29	別紙の、
0:54:31	1-13 に、評価基準が記載してありまして、
0:54:38	63 についてはSUで
0:54:43	ちょっと、
0:54:44	2.0SIは圧縮応力ではなくシアツ応力の、
0:54:51	評価基準になってまして、
0:54:54	思考力についてはFCになります。
0:54:58	数値は
0:55:01	これ、この数字で間違いございませんので、
0:55:04	この記載の 2.0SIというのがちょっとすみません、こちら記載ミスでして、
0:55:10	AFCが清にあります。
0:55:21	規制庁松野です。
0:55:26	今の記載のミスっていうのは、どこのことを今言われてました。
0:55:33	このパワーポイントの、
0:55:36	157 かつこ 2.0Syっていうのが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:41	正しくは 157 括弧FCになります。出力の評価基準を今AFCと置いてますので、
0:55:50	ごめんなさい。
0:55:52	主気圧が 2.0Syで、思考力としてはFCになります。
0:56:04	規制庁の田崎ですけど別紙の 1-20 と 21 ページを見ていただきたいんですけど、
0:56:13	そこにはちゃんと説明が書いてあって、
0:56:17	例えば 2 市で 7-20、にはまず 1 の表の、
0:56:24	SUの基準値を満たしますと、そのあとにまた書きで、
0:56:28	Siん 266MPaより小さいため、コンパートメントは塑性変形せず臨界防止を有意な変形は生じないというふうに書いてあるので、
0:56:39	これをちゃんと書いてもらった方がいいんじゃないですかというコメントです。
0:57:08	日立造船の岡田です。そうですね今のコメントありがとうございますその臨界防止機能としてはさっき応力強さと圧縮ということで評価させていただいて、今のコメントを理解して私の理解では、
0:57:21	さらに補足してこちらの別紙の、例えば 20、すいません、別紙の 1 の 21 に書かれてるようなものを、例えばここに米印つけて、注記の 3 として、
0:57:34	なおコンパートメントの塑性変形せずというような注記を入れさせていただくのがわかりやすいのかなという理解になります。そういったご理解でよろしい理解でよろしいでしょうか。
0:57:47	規制庁のトガサキサノですね。
0:57:50	まずその申請書をちゃんと見ていただきたいんですけど。
0:57:55	申請書のちょっと
0:58:00	この補足説明資料の 1013 ページですね。
0:58:04	13 ページに、このいろんな要求事項に対して、
0:58:08	コジマってことで書かれてるんですけど、
0:58:11	その下に、
0:58:15	下のパラグラフのところで、
0:58:20	飛び込み、麻生益子湖の臨界防止を、
0:58:26	し機能を担保するバスケットは臨界防止上有意な変形が生じない設計とするっていうふうに約束をしているので、その説明をまずしてください。
0:58:36	その注意書きではなくて、そちらの方がメインですから、それをちゃんと説明してください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:42	で、
0:58:43	先ほどのSUの要求ってのは何のためなのかよくわかんないんですけど、
0:58:48	SEっていうのはちょっとセイキに入ってしまうわけですね。
0:58:51	何で何でその説明が必要なかわからないんですけどもし必要だったらちゃんと説明をしてください。
0:59:09	日立造船の形、はい今、趣旨理解いたしました。ちょっと少し表現は、はいもう一度見直し検討させていただきます。ありがとうございます。
1:00:25	規制庁の藤トガサキです申請書の臨界防止上有意な変形が生じない設計というのは、
1:00:34	塑性域に入っても、
1:00:36	変形有意な変形を生じない設計としているのか、それとも、もう塑性域に入りませんと。
1:00:45	蘇生金は入れなくても有意な変化が生じるかもしれないんですけど、
1:00:50	そのところが
1:00:52	SIとSUの基準値を両方参照してるんで、どういう設計としての拡張はわからないのでこの申請書に書いてある。
1:01:03	臨界防止を有意な変位が生じない設計というのは具体的にはどういうことなのかっていうのを、説明してください。
1:01:25	規制庁サクライでスケール。
1:01:28	あともうすいません、また先行とちよっとの記載ぶりと比較して申し訳ないんですけど、この資料を見ると、何か弾性範囲内に収めるっていうふうに、
1:01:39	言い切れるような気もするんですけど、不凍栓としても、
1:01:45	方針が今の記載になっているっていう、するってことなんですかね、×は書けるけど社の方針、
1:01:56	はい。
1:01:57	そうですね。
1:02:04	うん。
1:02:07	何か考えてる。
1:02:10	はい、日立造船の小形ですはいサクライ様のご理解通り、我々の設計思想としても、弾性範囲内で、ということでこの
1:02:21	別紙の方を以降で書かせていただきました組成図エスワンよりも小さいという評価もしていると、ということです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:31	ですから%本の方の表現を少し、これはもう少し見直しさせていただく ということで、間検討したいと思います。はい。申請書も結局そういう今 のこういう本とか附属中そうですねはい申請書のパワポの方で
1:02:49	施工人ならえとか言ってるわけじゃなくて多分者の、何ていうんすか方 針の考えが、
1:02:56	あるならそれをちゃんと説明すればよくてどの程度そけ塑性変形しない っていうんだったら、どれくらいの程度を見込んでいて、
1:03:08	壊れないんですとか、そういう、
1:03:12	説明をすれば今の記載でも問題ないとは思ってるんですけど、
1:03:17	はい。そこら辺どうなんですかね。
1:03:21	宇津に。
1:03:22	記載同じくしろって意味じゃないです本当に、
1:03:33	すみません規制庁の戸ヶ崎ですけど、別に有意な変形があったら駄目 だというわけではなくて、男性でも蘇生でもいいんですけど、
1:03:42	変形をしたときに、その変形量が、その臨界計算上どういうふうには考 慮されるのかとか、あと共同強度部材であればその変形が、
1:03:56	どこまで許されるのかとかですね、そういう説明が必要になってくるん ですけど、拿捕可能だから、あの時事業者の例ではそこまで説明しな くても檀セイキは、檀セイキにとどまります変形しませんで終わりな ので、
1:04:11	どちらの方を説明、採用されるのかっていうのをちょっとはっきりして いたきたいということです。
1:04:23	はい日立造船の方はありがとうございます我々も塑性変形しないとい うのは弾性範囲内であるというような評価で考えておりますので、
1:04:36	考えております。はい。
1:04:40	ちょっとそのようにちょっと表現の方はもう少し検討させていただ ければと思います。はい。
1:04:47	ちょっと先行もちょうと参考に、
1:04:50	させていただきますはい。
1:04:53	だなこれ。
1:05:00	規制庁松野ですけども、ちょっと今の点、もう
1:05:05	再確認なんですけど、
1:05:08	先行の、
1:05:11	三菱は臨界の閉じ込めも、設計方針として、弾性範囲内。
1:05:18	で抑える設計とすると、設計方針、書かれているんですけど、
1:05:23	今回の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:26	評価結果を踏まえて、
1:05:29	設計方針を、
1:05:32	弾性範囲内。
1:05:35	とどめる設計とするっていう設計方針を変える。
1:05:41	ていう理解でよろしいですか。
1:06:52	すいませんちょっと多分説明の仕方によってこう分かれちゃうところだと思んですけど、今の塑性変形しないっていう表現が、
1:07:01	江藤、日立造船、
1:07:04	の中でひな先行とほぼ同じで弾性範囲内に抑えるっていう、
1:07:11	考えなんだけど、表現をちょっとヒロイ広めじゃないだけとって、今のよう な形にしているっていうならば補足とかで説明とかっていうのも、
1:07:24	それだと、変な話方針は変わらないんだけど、説明をちょっともうちよ と詳しくすることにして、になるんですけど、方針を変えるってなつた ら、
1:07:36	変な話塑性変形しないっていう、方針ではあって、
1:07:40	もともとあったけど、もう弾性範囲内に抑えますっていう、何て言うか、 限定して言い方に、
1:07:48	講師。
1:07:49	を変える、ちょっと言い方が難しいんですけど、そうなると、やっぱ会合 とかで方針、
1:07:56	変更しますみたいなことはやんなきゃいけないのかなって思うんですけ ど。
1:08:01	方針を変えるのか、それを何か説明をちゃんとするのか。
1:08:07	. どちらになるんですかね。
1:08:31	を、はい。日立造船の方ですはい。ありがとうございます
1:08:36	スパーやはりパウポの9ページにかかるか記載させていただいてる通 り、バスケットが臨界上有意な変形を起こさないってところは、設計 方針として書かせていただいている、こちらはそのまま。
1:08:50	の考え我々としては考えて
1:08:53	で、
1:08:54	その上ではこれはどういうことだということ
1:09:00	旧租税Syを超えてないような応力は越えませんよというような説明をさ せていただくという、
1:09:09	異なるともサクライさんの、はいアドバイス数、
1:09:12	のような考え。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:15	かなと、ちょっと我々はちょっと思っております。ですから説明をもう少し、ちょっと我々不足している部分がちょっとある。
1:09:23	ちょっともう少し検討させてください。はい。
1:09:38	規制庁、松野です。では続いて、またちょっと幾つか確認したいんですけども、
1:09:45	33 ページ目の、
1:09:48	図があるんですけど、
1:09:51	この左の
1:09:55	積載質量①とあって、
1:09:58	上部格子バックはプレート、この右上の、
1:10:04	米印って、
1:10:07	何か説明がないんですけど。
1:10:11	これ何か、
1:10:13	記載漏れですか。
1:10:19	上部格子枠と上部プレートのところについてる米印ってということですか。
1:10:26	わかりましたこの荷重を。それとその下の、はい、わかりました。
1:10:37	出る。
1:10:38	すいません今のちょっと 33 ページの関連のところ、この⑩と②と①の関係なんですけど、
1:10:47	②の方は、コンパートメント等は、これは全部の多さを考慮してるんですか。
1:10:58	②のコンパートメントは評価対象とする 24 体のみです。
1:11:04	20、規制庁の増額ですけど、24 体だけを、
1:11:08	じゃあこれは考慮してるっていうんであればちょっとそこがまずわかるようにしてもらいたいのと、
1:11:16	あと要は、この①の方も 69 分の 24 というのは、その外側の外周のものだけを 24 度を考慮して、
1:11:26	右の丸野、緑の部分に、
1:11:31	力が加わるっていう結果考えだと思ってるんですけど。
1:11:37	真ん中のヒロイヒロイ部分っていうのは、
1:11:43	この
1:11:44	下部プレートとか、サポートプレートですかサポートプレートとかには力枠はかからないような構造になってるんですか。
1:11:54	もう分割されてるんですか。
1:12:00	コンパートメント同士は繋がっていない状態になりますので真ん中の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:07	この今白くそのまま、
1:12:10	喜多書かれているコンパートメントについては、
1:12:13	外側 24 体とは繋がってないので、
1:12:20	この背弧野地高校にそのままスライドして下部プレートに直接当たる。
1:12:26	ような構造になってます。
1:12:30	今日規制庁のトガサキです
1:12:34	あれですね評価評価モデルって右下に書いてありますけど、ここの部分 というのは、左の
1:12:44	絵のどこの部分を拡大してるんですか。
1:12:54	評価
1:12:56	この左の
1:12:58	サポートプレートの 1、1 スパン分の
1:13:02	コンパートメント 1 本を、
1:13:06	評価モデルに、
1:13:07	来ていますがしてますとか、
1:13:15	すみませんこのサポートプレートっていうのは横についてるんですよ ね。
1:13:21	それで荷重っていうのは左から右にかかりますよね。
1:13:26	この評価モデルというのも、荷重が左から右にかかっているんですけど、
1:13:32	高評価モデルの白い
1:13:36	横野本バーの部分というのは、左の絵でいうとどこのところなんです か。
1:13:49	この、
1:13:52	左上の
1:13:57	コンパて今記載されているコンパートメント 1 本の
1:14:01	サポートプレート 1 スパン分を、
1:14:04	抜き出しているかに切り出してるような形になります。
1:14:11	すみませんちょっと
1:14:14	だから、左、左のサポートプレートと、
1:14:18	フランジプレートの中の横の、
1:14:21	線のことを言ってるんですか。
1:15:01	評価対象がまた評価対象として、
1:15:06	この緑色の枠で囲っていますコンパートメント 24 体の
1:15:11	サポートプレート 1 スパン分を、まず、対象として、
1:15:16	その中でこの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:18	下の拡大図のところにあります通り、
1:15:22	サポートプレート片側のサポートプレートを固定担当として反対側の、
1:15:28	フランジプレート側の方を固定、こちらも固定担当した。
1:15:32	その 1 スパン分のコンパートメント一本、
1:15:36	この拡大図にある、その 1 本を、
1:15:39	抜き出して評価モデルとしています。
1:15:43	規制庁のトガサキですけどちょっとですね。
1:15:47	ここのちょっとサポートプレートとかフランジプレート分がどういうふうに 寄与してるのかがちょっとわかんなくて、要は右の上の断面図だと、緑 の枠、
1:16:00	枠の方にこの紙は小型に何か力がかかるように見えるんですけど、
1:16:04	そのはコガたの、2、
1:16:08	緑の部分。
1:16:11	評価してるってことなんですか。
1:16:23	はい。そうですね。評価としては今おっしゃられている通り、
1:16:27	コンパートメントの外周 24 本のところの一番下の、
1:16:33	1 スパン分は、今はコガたと言われたその範囲を評価対象としていま す。そうすると、この左の評価モデルっていう書いてある隣の、
1:16:45	図は、
1:16:48	これのサポートプレートの上の部分、上の横の線とその上の線のところ が、緑のところ該当すると思うんですけど、
1:16:58	そこを評価してるんじゃないんです。
1:17:01	だからこのサポートプレートと古いフランジプレートっていうのは、評価 の外なんじゃないですか。
1:17:12	はい。
1:17:13	それでサポートプレートそのものとフランジプレートは今評価モデル。
1:17:20	丹羽はい。
1:17:21	入ってないですね。
1:17:23	ただ、荷重としては入ってるんですよ。
1:17:29	サポートプレートについては荷重として考慮してます。だー左の積載質 量②っていうののコンパートメントっていうのは、
1:17:41	この緑の部分で、24 体分が、
1:17:46	左、右の方に荷重がかかるんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:49	フランジプレートとかサポートプレートとかあるブロックっていうのは、この重さ重さがその重さをちゃんと考慮して、その荷重っていうのは、さっきの 24 個のコンパートメントの四角い枠の前面にかかってくれば、
1:18:08	それとも外側の板だけにかかっているのかっていうのはちょっとそこら辺がちょっとよくわからないんですよ。
1:18:16	一応、
1:18:19	赤く赤と黄色で色づけしている部材については、
1:18:24	この評価対象としている緑の、
1:18:27	枠でくくっているコンパートメントに、このコンパートメント前面に荷重として均等にか加わるという評価にしています。
1:18:39	規制庁のトガサキ、
1:18:42	すぐ平均しちゃってるってことですかね。だから、何かこのAで見ると、この
1:18:50	フランジプレート等より左側の部分というのは、
1:18:55	そののだから、
1:18:58	コンパートメントの、その下の部分に力が大きくかかるように見えるんですけど、その下の部分だけじゃなくて、4 面、4 面 2、
1:19:09	均等に鍵をかけてるんですか。
1:19:23	ちょっと豊 4 面というのがちょっとよくわかんなかったんですけども規制庁のトガサキです右の上のマルの、断面図を見ると、この下、下にコンパートメントの緑の、
1:19:37	枠が箱状に書いてありますけど、はい。
1:19:42	北丸断面図で見ると、ここ一番底にあるサポートプレートとか、
1:19:49	丸 2 ブロックとか、
1:19:52	フランジプレートとかそういうのは、
1:19:57	断面の下の方の緑の線の方に荷重がかかると思うんですけど、そうではなくて、この四角の加工場の横の箱状。
1:20:09	全体に均等に平均して、荷重をかけてるっていう理解でいいですか。
1:20:19	はいそうですねサポートプレートとかアルミブロックとか、
1:20:24	上部孔食もそうですけどもそちらは
1:20:29	このコンパートメント断面に均等に、
1:20:33	主荷重として作用させるということにしています。
1:20:37	規制庁のところずっとそれって保守的なんですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:57	すいません。規制庁の方ですけれども、ちょっとこのモデルで言えば、そもそもちょっと絵を見て気になったんですけれども、先ほどね、中は独立後からつついていたって、結局、
1:21:13	ここのね、衝撃加速度にかけ、掛け算するっていうのは受重量っちゅうか質量なんだから、これ 69 体のものがあるって、それに対して、
1:21:23	周辺の周辺の、どういうかな、指示を兼ねてるところでね、要は荷重を受けるといふういふうに考えたら、まず重量はね、69 体。
1:21:35	ていうかこのバスケット全体の重量を考えないとおかしいんじゃないかなと思うんですけれども。
1:21:40	必ずこの通りになって 24 体分しかその足のほうにかかる橋っていうか、底面の方にしかかかりませんっていう保証ちょっとできないと思うんで、やるとすれば、全体の重量に対してこの周囲の
1:21:53	要は、普通でいうね、例えばバスケットの足の部分とか、足とかのスールとかありますよね普通、そういうところの、思考力の評価やってるのと一緒だから、
1:22:04	そこにかかっているのは何って言ったら、バスケット全体の自重と考えるのが自然じゃないんですかね、と思うと、
1:22:12	いふうに思えるんですけど、いかがでしょうか。
1:22:30	すいません知名ちなみにこの外側だけ選んだ何か実験とかされて、何回かやって、結局、外側の何個かしかこう書かなかったよとかそういうこともあるんですかね。
1:22:44	でも、
1:22:45	保守的に、
1:22:47	外が、
1:22:48	外側とか、うん。
1:22:52	うん。
1:22:58	あの、
1:22:59	そうです。ホデも、あれっすね、何でこういう考え方したのかっていうのを聞きたいと思ってて、
1:23:07	学校素人考えですけど、保守的にっていうのであればもう全部ぶつけけるっていうか、
1:23:14	かけちゃえばいいんじゃないのかなと。
1:23:17	思ってたんですけど、そこら辺どんな考え方なんですか。
1:23:27	まず中心部の今、白くなっているコンパートメントについては、
1:23:33	先ほどちょっと申しました通り、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:36	外側とは固定されてないので、横方向、この軸方向に、
1:23:41	そのままスライドして下部プレートにちょっとここ、
1:23:46	スライド当たる荷重を加えるような働きをしていますので株プレートの評価としては、
1:23:54	この中心部のコンパートメントと、今評価対象とするとしている、緑色の
1:23:59	24 体をすべて合わせて、69 体すべて合わせた荷重が働くというふうに評価をしています。
1:24:07	今回コンパートメントの評価としているのは、
1:24:11	途中シーンのこの白抜のコンパートメントは、自重と上部格子枠の、
1:24:19	荷重しかかからないのに対して、
1:24:21	この外側の 24 体については、
1:24:24	20 と上部格子枠とさらにサポートプレートと、
1:24:29	アルミブロックの荷重がすべて加わっこの
1:24:34	この 24 体がその荷重を受け持ってますので、
1:24:38	真ん中よりは
1:24:40	応力値としては高い値になります。ですので今回そこをモデル化して評価するというふうにしていきます。
1:24:53	これは規制庁のトガサキですけどすみませんコンパートメントはこの白い部分と赤い部分がどこ、独立してるんですかそれとも、
1:25:03	全部のこの四角コンパートメントが全部独立してるんですか。
1:25:11	外周部のコンパートメントはサポートプレートを、
1:25:16	返して繋がっています。で、この今、内川の白くなってるコンパートメントはすべて独立したものになってます。
1:25:24	わかりました別々に考えられるっていうのは、広い部分とわかるのは、
1:25:31	実行方向についてはですね軸方向については別々に考えるということで、その赤い部分は、コンパートメントの外側にあるブロックとか、サポートプレートとかがあるから、
1:25:45	その荷重分を加えなければいけないってのはわかるんですけど、その加え方として、緑の 24 個の枠に均一に荷重をかけて、
1:25:56	いいのかっていうと、ところについてはちょっと
1:26:01	そこは妥当性はちょっと説明してもらいたと思います。
1:26:32	はい。すみません日立造船濱田です。
1:26:36	ちょっと今の件については一旦検討させていただきたいと思います。
1:26:44	はいありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:46	先ほどね、やっぱり真ん中わかんないって、どう、ちょっとやはりこちら網なんかよく理解できないんですけれども。
1:26:55	極端な話ね例えば無重力状態でね、横方向だけ慣性力かかりますだったらこれでいいと思うんですけども、実際は地球の上にいるわけですから、乗っかってて、
1:27:07	ある程度の重量は下の方にかかっているわけですよ。
1:27:11	その上で、
1:27:13	その上で、これが動くというふうに考えたらね、それは全部が全部かかるわけじゃないと思うけど、
1:27:19	静摩擦なんかどうマツダかわかんないけど、その部分で止まろうとしてる、ある程度止まっているわけだから、そういうことを考えると付加条件として本当にこれでいいのかどうかというのもちょっとあわせてご検討ください。よろしくお願いします。
1:27:39	はい。日立造船濱田です。はい。すいません。わかりました承知しました。
1:27:49	規制庁松野です。
1:27:51	私からは、もう1点確認したいんですけども、
1:27:58	今度、
1:28:00	津波のところで、
1:28:02	37 ページ目に応力評価結果があるんですけども、
1:28:07	ここで、
1:28:12	横バーのところ、
1:28:14	遮へい機能の該当とあと、
1:28:18	バスケットのサポートプレートが中三中4で、
1:28:22	評価を省略する記載があるんですけど、
1:28:26	ここで、いずれも、
1:28:30	有意な応力は発生しないと、あるんですけど、
1:28:34	具体的にこの有意な能力は発生しないという。
1:28:39	逆に言うと、有意な応力が発生するっていうのは、具体的に、
1:28:44	どういうことになるのかちょっとその辺り、わかりやすくちょっと説明をお願いできますか。
1:29:07	はい。まず、外灯については、横方向からは当然、直接荷重が、
1:29:14	加わるんですけども、
1:29:16	縦方向については蓋部で荷重を受けて、
1:29:21	おりまして該当は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:25	書かれてる通りフランジと、当間上部側フランジと下部側、喀たん版で、
1:29:31	支持されてますので
1:29:34	本体には鹿島区ありますがイトウには、直接荷重が加わらないので、
1:29:40	評価としては省略しています。
1:29:42	それなので有意な競合力は発生しないとしています。
1:29:48	規制庁マツダサポートプレスハイはいません。
1:29:52	はい。
1:29:53	例えば 37 ページ目の除熱機能で計算値が一度出てるんですけど、
1:29:59	この位置は、
1:30:03	1 以下がいいかっていうことで理解していいですかこのゆな応力が発生しないっていう。
1:30:08	具体的なその定量的な値はもう 1 以下であるっていうことで理解してよろしいでしょうか。
1:30:17	除熱の伝熱費のところ。
1:30:21	ですか。
1:32:08	はい。すいません。日立造船濱田です。
1:32:11	外灯も、
1:32:14	バスケットもなんですけども、
1:32:16	今の荷重モデル評価モデルについては
1:32:23	荷重がかからないモデルになってるとか、そういう手計算のモデルとしては荷重がかからないようになってますので、
1:32:33	有意なよ。柏管内でも有意な応力としても発生しないということになる。
1:32:45	規制庁松村です。
1:32:47	ですので、もう 1 人も達しないっていうか、もう 1 未満であるっていうことで、
1:32:53	そういう理解でよろしいですか。
1:32:59	そうですね荷重がそこに作用していないということなので、
1:33:03	はい。1 以下というか
1:33:06	そうですね、採用してないってことですね。
1:33:09	そこはそういうふうには書けないんでしょうか。
1:33:12	荷重は発生しないということは書けないんでしょうか。
1:33:42	はい。ちょっと記載、
1:33:45	の仕方については検討して、主、必要な修正したいと思います。
1:33:56	すいません。補足を見る等、
1:34:01	ちょっと私の見方がおかしいかもしれないんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:05	あ、すいません。
1:34:06	ちょっと甲斐式とかが同じなんですよ。私資料 1-4 を見ちゃってたんですけど、一番最後の別紙 1 の 32 のところでせん断応力 τ とか応力強さ S とかがあって、
1:34:19	応力強さ S って、この 2、2 τ っていうんですか。だから、1 に切り上げてるんですよね。違いますか。
1:34:30	違うのか。
1:34:35	別紙 1 の 31 意識変えてもらってて、
1:34:43	これ竜巻荷重ですけど、津波荷重も同じように伝熱フィンって考えてますよね。
1:34:50	はい。輪廻品の荷重については、
1:34:54	この
1:34:57	能力強さを計算しても 1 以下の数字になるんですけど、それをもう切り上げて 1 としています。
1:35:08	規制庁のトガサキですよ。
1:35:12	三時パワポの 30、30 ページですね、30 ペイジーを、
1:35:19	ちょっと見てもらいたいんですけどこの、
1:35:22	ここ荷重のかかり方なんですけど、
1:35:28	本来は、この津波が左っかラグ、その荷重がかかって、それで、
1:35:35	中身については、
1:35:37	慣性力で、
1:35:41	導体側全部左、右の方に行くんだけど、
1:35:45	中身は慣性力で、
1:35:48	左側の方に荷重がかかる。
1:35:51	ていうふうに理解してたんですけど。
1:35:54	それに対して、そ該当っていうのは、
1:36:00	左から押されますけど一緒に押されるんで、
1:36:03	荷重がかからない。
1:36:06	ていう考えでよろしいんですか。
1:36:55	すいませんホデですけど今のに関連してですね、
1:37:00	例えばね、長手方向から来たときに、実際どうだっということなんだけど評価としては、いわゆる落下とか、
1:37:10	あれと一緒に、所この津波荷重なり何なりが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:16	衝撃荷重みたいに入って、それに伴って慣性力が発生するっていうことで、ここ例えば、速中性子社エーザイのね、非常に細かい話で申し訳ないんですけども、
1:37:27	慣性力が、要望方向に木幡。
1:37:32	ゴン特化で横方向へ行くのか、
1:37:36	右側に進もうとしますよね。
1:37:39	その時のね、例えば、非常に細かい話で申し訳ないんですけども、該当はね確かにするとしてかかるとしても主幹、この面積の圧縮荷重ぐらいでしよって何となくわかるんだけども、
1:37:52	例えば該当の丹伴とかっていうのはね、これ露骨に曲げがかかると言うんですけど、こういうところを評価対象にしなくてもいいと、ご判断されたっていうのは、
1:38:03	どういう根拠なんですか教えてくださいませんか。
1:39:12	すみませんちょっと
1:39:15	荷重の加わり方の御説明と丹坂野、御説明と、
1:39:20	含めて一度整理して、また
1:39:23	ご回答させていただきたいと思います。
1:39:27	規制庁のトガサキでその時に、
1:39:30	例えば 30 ページの図を見ると、そのトラニオン部分はその拘束条件になってるんですけど、
1:39:37	そうすると、ここ、ここで拘束すると、左から津波荷重が来たら、その隣にモンマとの間、
1:39:47	間っていうのが圧縮されますよね。
1:39:50	だからそただ、隣 4 の評価でその地震の荷重については、表、今回評価、付け加えてます。もらってますけど、
1:40:00	津波とカーhr
1:40:04	うそその説明ない。ないですよ。是枝から本当にこの拘束条件として、考慮してるのかですねこの図の通り、
1:40:14	そこもちょっと教えを教えてくださいたいと思うんですけど。
1:40:46	はい。日立造船濱田です。
1:40:49	画題に乗ってる状態で津波を受けているということなので、
1:40:54	トラニオンの課題になってる。設置してる箇所としてトラニオンを拘束条件にしています。
1:41:04	規制庁のトガサキそうすると

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:08	津波が来ても、あれですね動かんキャスクは動かないですよ。そうするとなかなか中身も動かないですよ。そうすると、慣性力も
1:41:20	もう働かないってことになってしまうんですけど。
1:41:24	どう、そこはだから、
1:41:28	押されて、左から押されて、中身は関西で止まっててそれが左側の
1:41:34	二つ目ぶつかるといふ。
1:41:36	評価じゃないんですか。
1:43:13	すいません日立造船の原です今松波のまず前提としましては我々はその5が第2、容疑があったの。
1:43:23	支持されてその津波はそのしか代は固定されてないというのが、今回の設計の前提ということで、しかしながらそうすると、
1:43:33	津波を受ければそのまま流されるだけであり、ということで、そのためすそれよりも保守的になるとか、厳しくなるとこれ固定、
1:43:43	隣を固定すして、した上で、津波を受けるといふような、少し
1:43:49	流れてそのまま受けるよりは、厳しい条件といふふうに考えましたので、まだトラニオンで固定をしたと。
1:43:56	いふふうに考えております。続きまして内部の
1:44:01	バスケットだつたりの評価に関しましては、同じく、ですから津波がそのまま
1:44:09	衝撃受けても流されるってところを、
1:44:12	止めた場合、その受けた衝撃力が、バス中身にも伝わるといふような、
1:44:19	考えで、
1:44:22	評価をいたしました。ですから、トラニオンで止めているといふ前提のもと、衝撃力がバスケットにかかるといふ、本来は各流れるってところを、
1:44:32	はい。そういう過程で評価をしております。
1:44:37	はい。以上です。
1:44:39	はい。規制庁のトガサキ津です体と隣要は念のために、
1:44:46	高速条件として評価してるだけで別にトラニオンがなくて、津波によって流されて、中身が慣性力で、
1:44:56	内部でぶつかつても、
1:44:59	そこはちゃんと考慮されてる、した計算をやられてるという理解でよろしいんですか。
1:45:42	はい日立造船の尾形ですはい。
1:45:46	そうですね

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:47	ですから中身のバスケットの評価に関しましては外が止まって、中が動くというような仮定をして慣性力をかけて評価をしているということになります。はい。
1:46:00	はい、わかりました。その隣による拘束はそこは考えないで、中身にちゃんとそ津波の荷重がちゃんとかかるという評価をしてるっていうふうに、
1:46:10	理解しましたけどそれでよろしいですか。
1:46:14	はい、ご理解通りですありがとうございます。はい。
1:46:31	すいません。あと、補足説明指針の補足説明資料、ちょっと待ってください。いいでしょう。
1:46:40	あれどっかに評価式の。
1:46:43	何か与えれるところ、値を細かく書いていただいて、小数点第5位とかまで記載してるところがちょっとあれ、
1:46:54	また別紙1の一位なんですけど、
1:47:01	ここまで書く必要は、
1:47:05	あるのかなとこれ多分あれですよね解析するとき、実際入れてる値とかですよね。
1:47:21	だから確か申請書とか野中社、
1:47:29	で、
1:47:30	すべてがそれですべてがというか
1:47:33	あれですね、条文なり、あれで何かこう、その遮へいだとか、閉じ込めとか、それぞれで
1:47:43	住み分けができてたらいいんですけど何かちょっとここ、
1:47:47	小数点以下多くないかなとかまあ、これで計算してるのかとは思いますが、
1:47:52	この辺、
1:47:54	記載の統一とかは、
1:47:56	しないのか。
1:48:03	もう他もおんなじ、同じようにこのあたりでやってるっていうんだったら別にいいですけど、はい。
1:48:17	日立造船吉田です。こちら細かい数字になっているところが重力加速度の値でございまして9.8065メートル前々年8番。
1:48:29	というところは物理定数として、この辺り使ってますということになりまして、それに係数というか、江藤がかかるような数字もちょっと細かく値として等細かく書いているというところには、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:45	そういう作りにはなっております。ちょっと、
1:48:49	必要性、
1:48:51	いたしましては、
1:48:54	そうですね重力加速度そのものの値は、この値そのものというところでよろしいのかと思いますがちょっと、他のところはどこまで書くかっていうところで衛藤。
1:49:04	和気検討はしたいと思います。
1:49:09	そうですね。あとですね、別にここまで書いてもらってもいいんですけど、江藤地震だけこれだけ、ここまで書いてるとか、事故名は何かしょうすいかさん、池田さん、池田までとか、
1:49:23	ちょっと評価方法、評価のCOCOコードの入れ方とかもあると思うんですけど、何か並びとっての方がいいのかなと思ってちょっとコメントした次第、コメントというか聞いただけなんですけど、別に書くなとかいう意味ではなくて、
1:49:38	一応多分、造船として方針、方針というか、定めていた方がいいかなと思います。
1:49:48	はい、北沢瀬下です。ありがとうございます承知いたしました。
1:49:55	すいません。
1:49:58	よろしいですか規制庁の方ですけれども、
1:50:02	えっとね、何だ、
1:50:05	例えば 49 ページとか、まず、
1:50:10	49 ページはこれRieraの式か何かで評価されたポイントを説明されてるんですけども、
1:50:16	例えば、ここで評価されてるのがね、そこと該当と一部たという話なんですけども、
1:50:27	なんか全然重さは違うんですけど、なぜここ対象になるのかと、ちょっと
1:50:34	見たらちょっとアンバランスだけど、例えばそこ、例えば該当対象にすんだったら、Teamのレジンカバーであり、一部田部。
1:50:44	なり 20 分よりもむしろ、どっちがどうだって渥美の問題あるのかもしれないんですけども、20 部隊でやるのにね、一番、要はちょうど緩衝体はちょっと別にし、
1:50:55	してここに対して評価するとかってということで、考え方を合わせるとかね、いうことが必要なんじゃないかなと、なんか。
1:51:06	例えば、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:07	底盤でいいんだったら、該当だって別 2 ここじゃなくて、どう、どうであって、Bクドウもしませんって話すればいいと思うんですけども、それぞれでテーマにしてもう普通、
1:51:19	垂直姿勢で隠れてたらここ見えませんで済むのかもしれませんが一応横でね。
1:51:24	緩衝体の議論をしないとしても、であれば、該当対象にするんなら、例えば、底部のレジンカバーを対象にするとかね、要は、
1:51:34	何か考え方がアンバランスのような感じがするんですけど。
1:51:38	このように考えられた根拠と、その辺は合わす必要はないのかということについて、確認したいと思います。ご意見、
1:51:47	どう考えたかというのをちょっと教えていただければと思います。
1:52:33	すいません聞こえてました。あれ。
1:52:38	はい。日立造船浜田です。
1:52:43	きちんと。
1:52:44	一部だとそこ行ったについては密封境界部になってるのでそこをピックアップしているのと、
1:52:52	外灯については
1:52:55	そうですねそこから飛んできた時に直接当たる。
1:53:00	箇所であるということで企画しています。あれば、該当やるんだったら理事、
1:53:16	何かぱっと見ると、軸方向にはある程度強いところで、該当だけ
1:53:23	ちょっと弱いところをやってやっていこうかなというふうに、というような感じにしかちょっと見えなかったんですけど、何かを、ある機能を維持するためにということであり、
1:53:33	例えば、またちょっと輸送の話でもあれですけども、とにかく外側に対して、その内側に対して影響がないときに一番外側を選びましたとかね、そういうような考え方に基づいて、それぞれ、
1:53:45	外に接する部分というか、干渉され、ちょうど緩衝体を無視した状態で、輸送物の見えるところついたらおかしいですけど外表面、輸送物じゃない失礼しました。
1:54:01	貯蔵キャスクの外表面になるところに対して評価をしましたっていうんだったら、
1:54:07	それぞれに対して貫通しません。だから内部にも影響及びませんっていうようなね、説明になると思うんです。思うんだけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:17	ちょっとその辺がね、うちが選んでみたり外が選んでみたりみたいな感じに見えるんで、考え方の統一が必要じゃないかなと。
1:54:27	別に。
1:54:28	例えば、
1:54:30	もっと言うと、底盤が多少やられたってね。そうしたら別にやられるという前提でやりましたということで、遮へいの時にどうしますかってそのペナリティ考えたらいい話でね、別にこんなとこやられたって関係ありませんよということ。
1:54:44	説明すればいい話だけだと思うんですね。
1:54:47	だからちょっとその辺、どういうんすかね全体のそのシナリオで、
1:54:52	どこを、どこが健全だからいいのかとか、
1:54:57	なぜこうしたのかっていうことが、
1:55:00	どうなんすかね。一本通ってるっていうところが大事だと思うんでちょっとその辺、もし、ちょっと今私が何か確認したことによって、何かこう、
1:55:14	どうなんだろうなという疑問だったらちょっと今一度考えていただきたいと思います。よろしくお願いします。
1:55:22	はい。日立造船濱田です。はい、承知しました。1度、考え方も一度
1:55:29	検討して、変えるなりしつつ、説明加えるなり、修正したいと思います。
1:55:44	すいません刀禰がイトウの評価なんだけども、
1:55:51	該当とか非常に
1:55:54	マイナーなところなんですけれども、ね。
1:55:59	どっかで書いてあったね。
1:56:02	曲げてやりましたっていうことで、モデルもし、
1:56:05	示していただいていたと思うんですけれども、どこだったかな。
1:56:11	へえ。
1:56:14	と、例えばね、
1:56:18	津波の方でいいのかな漂流物の 32 ページでこうだ一っとうこう書いてありますよね。で、
1:56:25	えっとね、PZっていうのは多分こうかけて街頭に全面かかりますよということで、投影面積にかかると思うんですね。
1:56:36	で、Pっていうのは前も、御所、ちょっとご確認させていただいた時に集中荷重ですっていう話なんだけども、
1:56:44	であれば、例えば、その前のページの 31 ページでね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:49	31 ページの上の図ありますよね。トラニオンで書いてあるけども、ここに、要は横に当たったついたらね、逆に言うと、要は変荷重を受けるね、薄肉円筒の式とかね。
1:57:02	そういうふうなものでね、もしやるのであれば、要はより、
1:57:07	例えばこれで、
1:57:09	どうかな。
1:57:10	例えば
1:57:12	31 ページの上の図のような断面で、
1:57:16	要はPPZと同じような形でね、集中荷重がある集中なんだけども幅ありますようだったら、別に全部まけて評価してもらってもおかしくないと思うんだけど、
1:57:27	こう見ても、輪切りにしてみたとしてもね集中荷重みたいな形であれば、それは何がし、要はそこにエーットーし、集中したね、圧縮荷重がかかるようなモデルでね。
1:57:42	それでどうなるのかっていうふうに評価する方が、より現実的っていうか実態を説明できるようなね、モデルだと思うんで、
1:57:52	本当にこれでいいのか、そういうモデルでやった方が説明しやすいということであれば、ちょっと再考いただきたいと思います。
1:59:25	日立造船吉田です。ちょっと1度、1点確認なんですけど
1:59:29	このパワポ資料資料 1-1 の 32 ページの図というのが、
1:59:36	例えば
1:59:39	竜巻の、補足説明資料、本日の資料 1-4 の別紙 1 の 8 ページとかに、
1:59:47	記載している。衛藤。要は円筒
1:59:51	そうですね両端部を、
1:59:55	固定したような円筒として、そこに、
1:59:59	円筒の梁としてですねそちらで評価しているということをご認識いただいた上で、この評価方法、この評価モデルで考えること自体が不適切なんじゃないかというご指摘ということよろしいでしょうか。
2:00:12	うん。ですね、要は、
2:00:15	要は波の波の荷重はねこれでいいと思ってる、思ってます。こちらも、
2:00:20	要は漂流物自身がコツンからある局所的に当たるわけですよ。
2:00:26	そういう時に本当にこのモデルでいいのかっていうのちょっとご検討いただきたいと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:38	日立造船の方ですはい。ちょっと今ですね吉田が説明した通り補足説明資料 5-1 の別紙 1-8 の図
2:00:48	についてなんですが、我々としてはですね一応
2:00:52	一番荷重が影響が大きい、きっと該当の中央部、
2:00:57	11 そして今回のこの評価に関しては集中荷重として作用させているということで我々これが一番厳しい条件だという、
2:01:07	ことでこういったモデルに対して荷重を付加していると、いうふうに考えております。
2:01:16	以上です。はい。はい。
2:01:18	その旨
2:01:20	定量的に示していただければ結構です。
2:01:52	聞こえており、聞こえましたでしょうか。
2:01:59	はい北沢です。はい
2:02:02	この評価でということではもう、お示してるものでということで、
2:02:06	ちょっと理解したんですが、Headだから、ちゃんと根拠を持ってこれが、これ、これを考えておけばいいということを説明してください。
2:02:16	もっと極端なことでもうあんまりこれ以上言ってもあれですけども、例えばこんなモデルだったら多分なんてあれですよ。溶接部ですよ。先ほどの溶接効率どう考えるんですか。
2:02:28	というふうなことも、各お考えだけはお示しいただいた方がいいのかなというふうにはちょっと思ってます。
2:02:37	当然このモデル自身が、内部のレジンとか、品とか無視したモデルなんでそういう保守性があることは十分理解した上です。
2:02:46	ですから、その上で、
2:02:49	このような、実態としてかかる、このような状態にかかるであろう荷重に対してこのモデルでいいのか、このモデルでやっておけば、例えば先ほど言った集中荷重のような影響、端部の影響とか何とかも踏まえても、その
2:03:05	ような、漂流物なり飛来物が当たったとしても、先ほどご説明いただいたように、
2:03:15	もうこれでやれば問題ないというお考えであれば、その辺を踏まえてこの評価で網羅できてるという説明をしていただければ結構です。
2:03:42	はい。ありがとうございますでははい。はい。コメントも検討いたしますありがとうございます。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:58	規制庁のトガサキですけどちょっと密封境界部の話に戻るんですけど補足説明の別紙の1-9ページ。
2:04:08	をご覧くださいきたいんですけど、
2:04:11	6番と7番で、
2:04:14	評価されてると思うんですけど、6番の方は、小令和多分、主、一次蓋部の厚さが薄いところ。
2:04:26	を評価されてるっていう。
2:04:28	のわかるんですけど、この7番の部分というのは、
2:04:32	どういう部分を選んでもらえますか。
2:04:50	7、日立造船濱田です7番については一次蓋の金属ガスケットが入るシール部。
2:04:57	を選んで評価してます。
2:05:00	規制庁のトガサキです材料はシールになるんですか。
2:05:09	北朝鮮ハマダですシール部、シール材ということではなくて、シール材を入れるところの、
2:05:17	本体の溝のところの評価、その水の部分の、
2:05:23	どうか。
2:05:24	なります、規制庁のところ、のみちょっとそこ、
2:05:28	ちょっと拡大して、どういう構造のところ、この
2:05:32	評価をしてるのかっていうのがわかるようにしてもらえますかそれで、だから、道道分についてはそこが一番弱いからそこを選んでもらえますか。
2:05:52	日立造船の方です。FMの考え方としては本来はですねこの7番は、プラン事業の
2:06:02	このシールの部分の応力ということでそれはもう内側から外側までといった範囲で6番と同じように
2:06:14	直線ですよその内側から外側までのところって言うところでもできるんですが、我々としては特にこのシールで圧縮される部分というのが、特に
2:06:25	それも高く応力が出るというような考えのもと、このシールですねシール部分の範囲を、特に評価は応力の評価範囲として、
2:06:37	指定していると、スズキ
2:06:40	設定しているという考えのもとやっております。はい小項目拡大ということではい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:48	再検討いたしますはい。はい規制庁のトガサキというその密封境界部っていうのは、ここのシールの部分だけではなくて、
2:06:58	その動態等、あと、一部たつていうのも、その境界部になると思うんですけど、なぜ、だからその、その中で、そのシールの部分だけを評価してるのかですね。
2:07:11	ていうのがちゃんとわかるように、
2:07:14	説明をお願いしたいと思います。
2:07:26	秋田イトウさんヨシダです。江藤。ちょっと説明がもともと不十分だったかというところなんです
2:07:32	一部投網シール部Aというところで当間金属キャスク構造規格等の方です。ですねウィップシール部に関しましては明確に、
2:07:42	江藤金属や金属ガスケットが、と接するVというところで定義されておりまして、そちらを評価部位にしているという認識です。衛藤。
2:07:53	評価対象として今回の資料の中で密封境界部というふうにくっついているところがもしかしたら、もしかしたらといいますか若干ちょっと広くて、不適切なところが、
2:08:04	あるかなというところで、修正をしたいなと思って、
2:08:08	おります。
2:08:09	以上です。
2:08:11	ですねこれも、これもトガサキですけどこれも申請書との関係をちゃんと説明してもらいたいんですけど補足説明の13ページ
2:08:21	言いますと、
2:08:24	一番下のパラグラフで閉じ込め機能を担保する密封境界部は概ね弾性状態にとどまる設計とするって書いてありますので、密封境界部っていうのが何かですね。
2:08:36	その中で、どこを評価するのか、っていうのをちゃんと、この申請書の設計方針で照らし合わせて、
2:08:46	説明をお願いしたいと思います。
2:09:17	衛藤さんおっしゃいます承知しました衛藤。
2:09:20	ちょっと1回こちらの辺りの記載等確認して江藤プランナーが出席するということで検討したいと思います。
2:09:29	はい。ちょっとちなみに他の施設事業者は、導体部分とか、蓋の部分も、
2:09:37	費用評価してますので、ちょっとそこも参考にしてもらえればいいんじゃないかと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:49	木曾先生承知いたしました。
2:09:52	はい。あと規制庁のトガサキ、ちょっとあの時これ事実確認なんですけど、
2:09:57	まずパワポの 11 ページの、
2:10:04	あれですね、下の図の、
2:10:08	下の右の方にクラリオンよりちょっと左側に行く。
2:10:12	Wって書いてありますけど、これFIダブルでいいですか。
2:10:22	ウエノだから、
2:10:25	F。
2:10:26	Wっていうのは、側部中性子遮へい材の慣性力なんで、
2:10:31	上の方のFWは、そのままでもいいんですけど、
2:10:35	下の
2:10:37	トラニオンの左下のFWな、FIダブルだと思うんですけど、
2:10:43	それでよろしいですか。
2:10:46	その次のページはちゃんとなってますので、
2:10:54	はい。日立造船濱田です。こちらはちょっと、
2:10:59	おそらく記載ミスで、
2:11:01	本体の胴に伝わるのが、
2:11:05	FIダブルで、
2:11:08	側部中性子遮へい材のところはFWになります。
2:11:14	はい。それでこちら図の記載は修正します。はい。お願いします。それと、
2:11:20	パワポの 20 ページと 21 ページの、
2:11:24	一番上の表の
2:11:27	一部他の評価基準ちいが、前のパワポからちょっと変わってるんですけど、
2:11:35	変えた理由というのは何なんですか。
2:11:50	その前は 184 でした。
2:12:17	寄贈線ハマダです前のパワポというのは前回ご説明させていただいたときの顔、2 月に言うことです。パフォーです。
2:12:34	述べるようって言ったら、
2:12:36	いう。
2:12:43	はい。すいません、北朝鮮ハマダです。そちら前回の%コウノ、記載のところでちょっと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:50	修正漏れがあって、要は記載ミスがありましたので今回そちら修正させていただきます。気材料が違うんですか。
2:13:02	胴フランジ部が 180 ぐらいで、一次蓋部 484 だったんですけど、
2:13:08	一部蓋部の方が今回川変わってるんですけど、材料が違うってことなんですか。
2:13:18	そうですね一応、議事部た分と胴フランジ部は材料が違いますので、
2:13:26	これで評価基準値も変わってます。
2:13:30	はい。
2:13:31	で、
2:13:32	そうそういうところ申請者には影響しないですか。
2:13:48	ちょっとチェックしてもらってそういう、
2:13:52	申請書に影響があるよと言ったら、すぐを教えてくださいんですけど。
2:14:01	はい。
2:14:05	はい。日立造船濱田です。一応今確認した限り申請書のほうには影響はありません。
2:14:12	はい、わかりました。それとですね 22 ページの、
2:14:19	ところのこの評価基準値もなんですけど、
2:14:23	の値と違って、今回は何か注釈でボール等のない力係数というんですか。
2:14:32	を考慮したっていうのが書かれてるんですけど、それとの関係で、数字が変わったというふうに考えてよろしいですか。
2:14:44	はい日立造船濱田です。蓋ボール、蓋の横ずれ一次蓋の横ずれ評価の、
2:14:53	評価基準値については、
2:14:56	以前はボルト野宿力をそのまま、
2:14:59	規準ちいの時に直す式に入れてたんですけども、前回コメントいただいた通り、
2:15:07	ボルトの内力係数内外縁肥という時もありますけどそちらを考慮して、
2:15:13	蓋に、
2:15:18	そのケース分だけ、
2:15:21	押し付ける力を弱め、
2:15:23	と。
2:15:24	大学の今の現在の基準値になってます。
2:15:48	わかる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:50	はい。
2:16:02	規制庁のトガサキですけどちょっと
2:16:06	シーズ生成先の設計基準値なんですけど、
2:16:12	ちょっと申請書のシェアと若干ちょっと数字が違いますね。
2:16:19	ちょっと比 183 って書いてあったりですね。
2:16:24	蓋部がなかったりとか、
2:16:27	評価結果は、
2:16:30	59 でやってるような感じがするんですけど、ちょっとそのちょっと確認してもらえますか申請書で書いてある数字等。
2:16:40	との関係ですね。
2:16:45	これ自身ですよ。
2:16:48	振鈴。
2:16:50	一時ボルトは、
2:16:53	一時ボルトもちょっと違いますよね。
2:16:56	申請書は 406MPa って書いてあるんで、
2:17:02	今回、378 ですか。
2:17:06	これは前回も、
2:17:10	同じですね多分。
2:17:12	長子申請書等の数 g が違うん違う理由って何かありますか。
2:17:31	土佐日立造船浜田です。
2:17:34	ボウル等は
2:17:40	水平方向と軸方向と、厳しい方。
2:17:44	抜き出して記載しているんで、
2:17:48	径方向の 406 を、
2:17:51	今記載している状態になります。
2:18:23	規制庁のトガサキです
2:18:26	密封シール部はちょっと数字が違うので、
2:18:30	いずれにしても申請書の説明をまずしてもらって、それでもうもし
2:18:38	くつよく計算で何か変わるようなことがあれば、補正とかが必要なので、そこはちゃんとですね理由。
2:18:46	をつけて、
2:18:48	ちゃんと会合で説明してもらいたいんですけど。
2:18:57	日立造船ハマダですはい。すいません承知しました。
2:19:00	一応、
2:19:02	全部、再度確認してご説明するようにいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:10	はい。お願いします私からは以上です。
2:19:25	規制庁松野です。こちらからの質問、確認事項は以上となります。
2:19:34	全体を通じて、そちらから何か確認したい点がありましたらお願いします。
2:19:44	はい。日立造船岡田です。どうもありがとうございました特にはございません。えっつこれあとす、今後のスケジュールというのはまた別途調整させていただくということで、お願いいたします。はい以上です。はい。
2:19:57	これでヒアリングは終了します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。